

ワークショップ 各グループ発表内容

A グループ

教育に係る課題-子どもたちの伸ばしたいところは？①

そのためにどんな学びや経験が必要か？

支援

小規模児童
生徒の組織的
アプローチ
不登校傾向児童
への対応

生徒に対する
教育支援
への連携は？

ソフトウェア

分からない子
☆ 10%

やる気出ない子
☆ 10%

運動習慣
二極化

ヒトとつながり
育むための
育成

コミュニケーション
能力の向上

少子化への
備え

自信を
もたせる

みんなで
話す

相手を思いやり
心の育成

学習環境 (少子化時代 に配慮)

9年間の
教育パッケージ
には不足している
が必要なのは？

つなぐもの

ICT機器の
最大限の活用。
一人一台通化
一括管理が望ましい

地域学習の
充実

子どものつなぐ
地域をつなぐ
つなぐを
大切にする

成功体験
を
共有する

ハードウェア

新しい教育ビジョン
通学不足
学校施設更新
への対応は？

建物の老朽化
公設施設
への対応は？

学校施設の
検討

通学支援

小中一貫校
の是非

教育ビジョン

新しい教育ビジョン
理念が
やや抽象的
「教育」とは？の理念
が浸透していない

新しい教育ビジョン
一貫可能性
への道筋が
やや脆弱

☆ 家庭学習
支援できていない
30%

☆ 本を読まない
40%

ビジョンが完成
したと見えては
いるが、まだ
浸透していない
一部には疑問

① 幼保小中一貫した
教育パッケージ

① つなぐものの大切さ

Bグループ

教育に係る課題・子どもたちの伸ばしたいところは？ そのために どんな学びや経験が必要か？



- 子どもたちの学びを アウトプット していく体験
- 人を認める。自分が認める → 自己肯定感
- 家庭・地域・学校の 関係 コミュニケーション

多様性のなかで、自分を生かす
自己肯定感を高める
人の役に立つ

子どもにしっかりと向きあおう
子どもに学べ

町の資源の活用を
家庭・地域・学校のつながり

子どもにしっかりと向きあおう
子どもに学べ

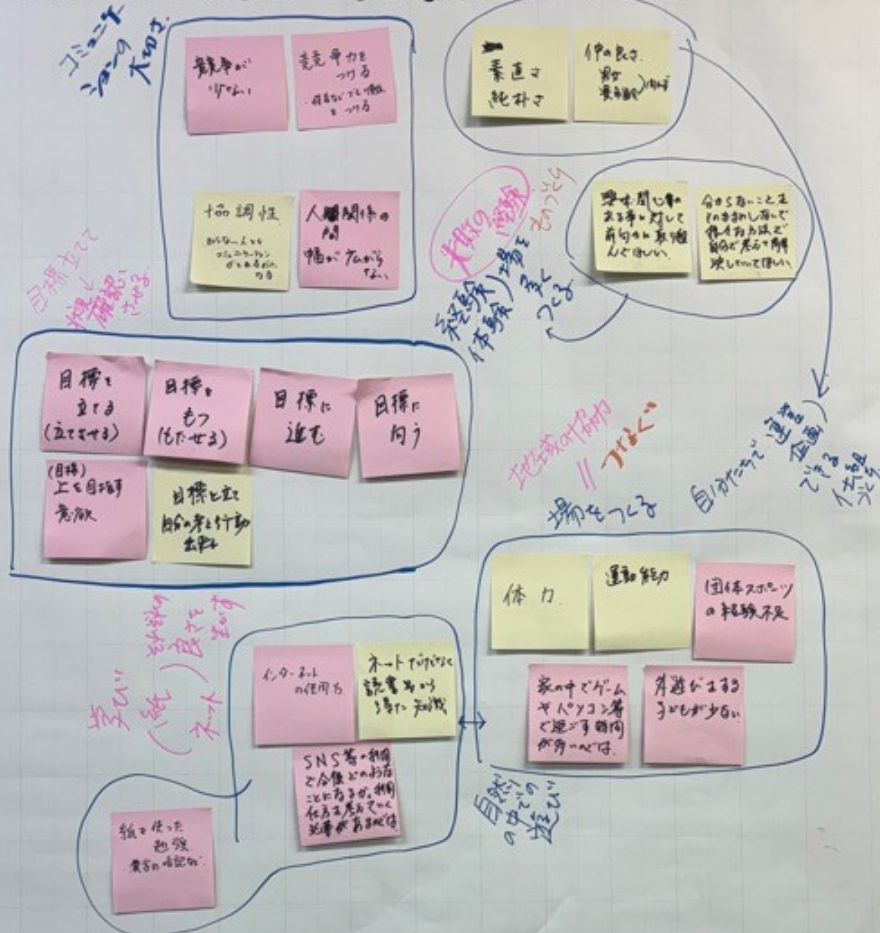
多様性のなかで、自分を生かす
自己肯定感を高める
人の役に立つ

町の資源の活用を
家庭・地域・学校のつながり

C グループ

教育に係る課題・子どもたちの伸ばしたいところは? ③

そのために どんな学びや経験が必要か?



① 目標をもつ

② 場をつくる

③ 学び方

経験・競争から

地域の協力

子どもが自分たちで運営・企画

紙・ネットの良さを生かす

① 目標をもつ

経験・競争から
(失敗も)

② 場をつくる

地域の協力

子どもが自分たちで運営・企画

③ 学び方

紙・ネットの良さを生かす

教育に係る課題・子どもたちの伸ばしたいところは?①

そのために どんな学びや経験が必要か?

大事にしたい!

多人数
で学べる
場の設定

中村・井口の交流

小人数の メリット・デメリット

小人数でのよさ もあるが、大人数 で学べるという 場も必要。	友だち同志 の交流 (752号2号は11)	小人数は ある、でも ・経験者の 選抜が必要
中村らと ときのカルチャー セッション	経験者あり、 個人の立場も 考慮されるから	人間関係で つまずいた時の リセット

AI・電子機器 依存

読書の 時間が 減っている	スマホで ゲームの時間 が増えている (253号47V)
---------------------	---------------------------------------

校舎老朽化

アールの授業	トイレ 更衣室 老朽化
--------	-------------------

他者との関係 構築

助け合える 関係	感謝する心	信頼しあえる 絆
異学年の 交流	学年関係ない つながり	いろいろな人の 意見と向き合い を教わること つまずく(452号)
失敗をかに 言えていく力	他者を受け 入れる寛容 性	さまざまな人の つながり
自分で考え 進めていく力 自分で決める 力		

特色ある授業

英語教育
英語中心
の授業

外国につな
がる児童生徒
も生きる

→ 交流の場を!
相互理解が進む

① 小人数での
メリット・デメリット

② 相互理解
場の設定

③ 校舎老朽化
なんとかしたい!